

# 症例解析演習Ⅱ

Pharmacotherapy Case Study Ⅱ

医療科目 4年／後期 1単位 必修科目

科目責任者 越前 宏俊 (薬物治療学教室)

## ■ 教育目的

系統講義で取得した薬物治療学の知識を模擬症例の薬物治療に設定された課題を応用問題として自ら能動的に学習し結果を発表することで理解を深める。病態の理解、医薬品情報をマルチメディア環境で有効に利用できるようになる。演習の形式は SGD (スモールグループディスカッション) 形式である。

## ■ 学習到達目標

5年次の医療機関での長期実習で臨床研修をするために必要な症例解析能力を学習する。  
(知識、技能、態度)

## ■ 準備学習 (予習・復習)

予習：事前に配布する症例についての自主学習とレポート作成

復習：当日の校後と討論による知識の確認と不足部分の自主学習

## ■ 授業内容

主要な疾患について模擬症例を読み薬物治療に関係する症状・徴候・検査値などを理解する。薬物治療については該当する疾病の診療ガイドラインの内容を参考にして立案する。授業形態は SGD 形式である。

## ■ 授業分担者

越前 宏俊、伊東 明彦、渡邊 誠、池上 洋二、植沢 芳広、大野 恵子、佐野 和美、野澤 玲子、小川 竜一

## ■ 成績評価方法

授業への出席、レポート (10%)、中間試験 (40%)、学期末試験 (50%) での総合評価

## ■ 教科書

「Dynamed」(学内専用；<http://www.ebsco.co.jp/medical/dynamed/>)

一般公開されている各種診療ガイドライン (最新版)

薬物治療学Ⅰ～Ⅳの授業資料

「今日の診療」(MY-PORT > 医療人 GP サイト内)

## ■ 参考書

『薬物治療学〈標準医療薬学〉』越前、鈴木 編 (医学書院)

『症例で身につける臨床薬学ハンドブック、改訂第2版』越前、鈴木 (羊土社)

『2ページで理解する標準薬物治療ファイル』日本アプライド・セラピューティクス学会 (南山堂)